

家庭学習の手引き

下妻市立蚕飼小学校

はじめに



蚕飼小学校では、子どもたちの学力向上に取り組んでいます。その一環として、毎日の家庭学習にもしっかり取り組ませ、習慣化を図りたいと考えています。

ご家庭のご協力をお願いいたします。

家庭学習のねらい

**毎日の積み重ねを
大切にしましょう！**

まずは、毎日の本読み、宿題をしっかりとやる習慣をつけましょう。

低学年・・・本読み、宿題を毎日きちんとやる習慣をつけましょう。

中学年・・・宿題＋自主学習もできるようにしていきましょう。

高学年・・・宿題＋自主学習を通して自ら学習していく力をつけさせましょう。

時間の目安



1, 2年【30分】 音読・宿題（20分くらい）→自主学習（10分くらい）

3, 4年【40分】 音読（10分くらい）→宿題＋自主学習（30分くらい）

5, 6年【60分】 音読（10分くらい）→宿題＋自主学習（50分くらい）

※家庭での勉強時間は、個人差があります。上の時間は目安です。お子さんの勉強の様子を見ながらその子にあった家庭学習の時間とやり方を見つけましょう。

※本読みは、国語の教科書が大きな声ですらすら読めるようになったら、他の教科書や本を読ませましょう。

家庭学習のポイント



**あせらず、おこらず、
励まして！**

〈勉強を始める前に〉

- ①テレビやゲームを消す。
- ②机の上をきれいにする。
- ③よい姿勢で行う。

〈勉強が終わったら〉

- ①勉強したことを見てあげる。
- ②家庭学習カードに押印する。
- ③次の日の準備がしっかりできているか確認する。



※毎日の規則正しい生活が子どもたちの学力を育てます。「はやね」「はやおき」「朝ごはん」の取り組みをよろしくをお願いします。

※やらないことをしかるよりも、がんばったことをほめてあげてください。

※この紙をみんなが見える所に貼っておき、お子さんに声かけするなどして、お子さんの家庭学習をねばり強く支えてあげてください。

児童の実態

平成24年度学力診断テスト
(3～6年実施)から分析したものです。

【国語】

漢字を読んだり、書いたりする力はどの学年もよい。しかし、物語文・説明文ともに、あらすじや内容がわかったり、人物の気持ちを正しく読み取る力が弱い。また言語力が不足しているため、作文を書く時に決まった言葉しか使えなかったり、日常生活の中でも知らない言葉が多かったりする。

【算数】

基礎的な計算や単位の学習については、よく理解している。しかし、どの学年も数学的な考え方が必要となる問題に関しては、弱い。例えば、3年生を例にとると、「 5×4 になる問題をつくる」のような問題である。また、文章を読み取る力が弱いために、文章問題では、聞かれていることが読み取れずまちがえる傾向にある。算数にも国語力が必要である。

各学年で身につけたい

読書は「**見えない学力**」を高めます。
毎日の生活の中で読書をする習慣をつけましょう。

1年生

- ①鉛筆を正しく持って字が書ける。
- ②ひらがな・カタカナの清音が読めて書ける。
- ③助詞(て・に・を・は)を適切に使い分けて文章が書ける。
- ④たし算・ひき算ができる。
- ⑤80字の担当漢字がすべて読め、8割の漢字が書ける。

2年生

- ①160字の担当漢字がすべて読め、8割の漢字が書ける。
- ②順序よく話をするができる。
- ③九九がすらすら言える。
- ④定規を使って筆算をきれいに書きながら計算できる。
- ⑤決められた長さの直線を正しく引ける。

3年生

- ①200字の担当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ②短い詩が暗唱できる。
- ③簡単なことわざを知っている。
- ④主語と述語の意味がわかる。
- ⑤わり算ができる。
- ⑥はかりを使って重さが読める。

4年生

- ①200字の担当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ②文と文のつながりを考えながら指示語や接続語が使える。
- ③国語辞典・漢字辞典が正しく使える。
- ④わり算の筆算ができる。
- ⑤コンパスを使って簡単な図形が描ける。
- ⑥分度器を正しく使える。

5年生

- ①185字の担当漢字のすべてが読め、8割が書ける。
- ②今まで習った漢字を使った熟語の8割が書ける。
- ③少数のかけ算・わり算ができる。
- ④分数が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑤割合・百分率を使った問題が解ける。

6年生

- ①181字の担当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ②小学校で習う漢字を使った熟語の8割が正しく書ける。
- ③親しみやすい古文のいくつかにふれ、音読できる。
- ④分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。